

# 近鉄西大寺駅周辺、イベント盛んもポイ捨て増加 市に対策求め、美化促進重点地域へ

市議会3月定例会の代表質問の中で私は、県内屈指の乗降者数、利用者数がある近鉄大和西大寺駅の周辺まちづくりについて、進捗状況や今後の整備計画を問いました。また芝生広場や駅前広場などが整備されたことを受けて、ごみや煙草のポイ捨てが増加している地域の現況を市に訴え、これらの防止や美観の維持のための対策を求めました。市は西大寺駅周辺をはじめ人通りが多い主要駅を「美化促進重点地域」に指定していきたい考えを明らかにしました。

また私は、これら駅周辺の整備が進められ、さらに利用者が増加したことで、ごみや煙草の吸殻などが目立つようになってきている現況を市に訴え、マナー啓発をはじめ市として対策が必要と指摘。近隣事業者や自治会の方々が清掃していただいているなど、地域へ過度

駅前周辺は、市道西大寺一条線の歩行者利便増進道路「ほこみち」として利活用を促進しています。芝生広場Ⅱ写真Ⅱでは、一昨年度から社会実験のお試し利用「トライアル・サウンディング」が行われ、イベントや出店が盛んに見られるようになりました。この社会実験で得られた課題や、その後の利活用、運営の制度設計などについて市の考えを聞きました。市は「芝生広場における飲食の

提供や各種パフォーマンスなど、令和6年度末までに56件の利用があった。課題としては天候に左右され、目標とする収益が得られなかった意見や、火の利用に対する事故リスク、近隣事業者から騒音の苦情などもあった。今後の運営に向け、見えてきたニーズや課題を元に、エリアマネジメント組織の組成に向け、近隣事業者や地域と協議を行っている」と説明しました。



な負担にならない取り組みを求めました。市は「大和西大寺駅広場周辺をはじめ、人通りが多くなる主要駅は、特にポイ捨てを防止する必要はある地域として『美化促進重点

## 市民の命を守る取り組み

## 映像通報システムが稼働

南海トラフ地震をはじめとする大規模災害時の市の備蓄や、自助、共助の取り組みについて市の考えを聞きました。また火事や事故、急病など119番通報を受けた際、現在は通報者からの音声で伝えられるシステムになっていますが、状況がより伝わる「映像通報システム」の導入を提案し、市の見解をたえました。

119番通報の「映像通報システム」は現在、全国720消防本部のうち、174本部で稼働しており、市は「市民の命を守る取り組みの一つとして、今年度4月1日から実証実験を実施する」としました。私は広報をはじめこの取り組みの周知徹底を市に求めました。

防災備蓄品については、全市に機動的に運用するために市は現在、「集中倉庫」を9カ所、初期期に即応するための「分散備蓄倉庫」を50カ所整備しています。これらの倉庫内には、食料や携帯トイレなどⅡ表参照Ⅱが確保されています。南海トラフ地震は、太平洋側沿岸部を中心に甚大な被害が想定されており、奈良県は「重点支援県」

となっていないません。市は「より被害の大きな太平洋側の地域を優先した救援となることが予想され、長期間にわたる備蓄としては十分ではない。このため市の備蓄と物資供給に関する協定締結企業や団体からの協力物資も活用し、災害対策を行っていききたい」と述べました。また、災害時の自助、共助については「最近では自治会加入率も低下しており、大変危惧している。このため地域の自主防災防犯組織に対する活動交付金を加算し、地域の活動を高めていききたい」と述べました。

## 塚本勝のその他議会活動

- ▶学校給食無償化「持続可能な施策へ」要望
- ▶増加する不登校児や生徒。特別支援児童生徒数5年で1.5倍。対策と支援求める
- ▶市立中の部活動所属人数減少
- ▶市公式アプリの充実を
- ▶ふるさと納税の強化を提言
- ▶耕作放棄地の解消へ
- ▶佐保小学校新校舎の早期建て替えの推進
- ▶防災における関係機関との連携



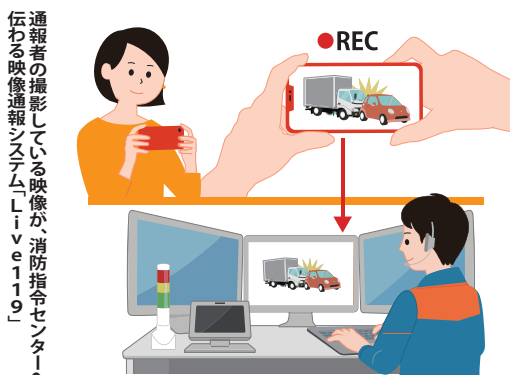
## 民間活力目指す市有地活用公募

## 2回の応募なし状況に 「条件見直し最善策を」

大和西大寺駅北側にある市有地Ⅱ写真Ⅱについて市は昨年度、民間事業者がこれを借り受けて産官学の連携拠点施設を建設する事業者を公募するプロポーザルを8月と11月に行いましたが、2回とも応募者がなく、活用方法が決まっ

ていません。私は市に対し、応募者がなかったことをどのように分析、評価しているのかを問いました。市は「事業者が採算性を検討する際、定期借地より土地購入の方がメリットが大きい、また建築資

材や人件費など建設コストが上昇しているなどが原因になっているのではないかとし、定期借地権の設定ではなく、売却することも含めて公募条件の整理を行い、準備が整い次第、早いタイミングで活用法を発表すると説明しました。私は「市有地は駅前ロータリーに直結しており、ポテンシャルの高い土地だが旗竿と呼ばれる不整形地。整形地として活用することで価値はさらに高まる」と提案。駅前広場や道路の整備が進む今、最善の活用策を検討するよう要望しました。



## 奈良市の防災備蓄品

- ◆食料  
15万4000食  
(避難者の3食分)
- ◆携帯トイレ  
約51万1000セット  
(1日5回計算で2日分)
- ◆飲料水  
約7万8700立方メートル  
(全市民の14日分)

